

プログラム 9月12日(土)

A 会場 (4F 鶴の間 A+B) ハイブリッド開催**9:00~9:10 会長挨拶**

長谷川 稔 (はせがわ みのる)
福井大

9:10~9:20 会務報告**9:30~10:30 特別講演 1**

座長：清水 忠道(富山大)

SL1 免疫介在性疾患の層別化と予後関連免疫経路

藤尾 圭志 (ふじお けいし)
東京大内科学専攻アレルギー・リウマチ学

10:40~11:40 特別講演 2

座長：秋山 真志(新百合ヶ丘総合病院/名古屋大名誉教授)

SL2 既存の血管に存在する血管内皮幹細胞の同定とその意義

高倉 伸幸 (たかくら のぶゆき)
大阪大微生物病研究所

11:50~12:50 ランチョンセミナー 1 「円形脱毛症患者さんの広がる治療選択肢～リットフーロによる治療タイミング～」

座長：清水 晶(金沢医大)

LS1-1 JAK 阻害薬を中心とした最新の円形脱毛症治療について

小亀 敏明 (こがめ としあき)
京都大

LS1-2 Real World Data と機序から考えるリットフーロの使い方・すすめ方

乾 重樹^{1,2)} (いぬい しげき)
¹⁾心斎橋いぬい皮フ科 大阪府大阪市、²⁾大阪大

共催：ファイザー株式会社

13:00~15:00 特別企画シンポジウム 1 「自己免疫疾患研究の最前線：B 細胞から次世代免疫療法へ」

座長：森田 明理(名古屋市立大)
奥山 隆平(信州大)
渡辺 大輔(愛知医大)

SPSY1-1 長期生存 B 細胞/プラズマ細胞の分化と生存機構—感染防御と自己免疫疾患の観点から—

伊勢 渉 (いせ わたる)
大阪大感染症総合教育研究拠点

SPSY1-2 SLE・強皮症の病態と治療の最前線—自己反応性 B 細胞を中心に—
新納 宏昭 (にいろ ひろあき)
九州大医学教育学講座

SPSY1-3 皮膚免疫疾患に対する B 細胞標的療法の最前線
松下 貴史 (まつした たかし)
金沢大

15 : 10~16 : 10 スイーツセミナー 1 「炎症性皮膚疾患における最新の知見」

座長：藤本 徳毅(滋賀医大)

SS1-1 乾癬治療でのアプレミラストの使いどころ
神谷 浩二 (かみや こうじ)
自治医大

SS1-2 掌蹠膿疱症治療の課題とアプレミラストのポジショニング
岸部 麻里 (きしべ まり)
旭川医大

共催：アムジェン株式会社

B 会場 (4F 鶴の間 C) ハイブリッド開催

9 : 30~10 : 30 教育講演 1 「水疱症」

座長：北島 康雄(岐阜大名誉教授)
玉井 克人(大阪大)

EL1-1 自己免疫性水疱症の最近の話題
岩田 浩明 (いわた ひろあき)
岐阜大

EL1-2 表皮の発生と再生基礎研究成果に基づいた表皮水疱症治療薬の開発
玉井 克人^{1,2)} (たまい かつと)
¹⁾大阪大、²⁾株式会社ステムリム

10 : 40~11 : 40 特別企画共通講習 1 【感染対策】

座長：秀 道広(広島市民病院機構/広島大名誉教授)

共通 1 免疫抑制療法開始前後の感染症対策
亀田 秀人 (かめだ ひでと)
東邦大内科学講座膠原病学分野

11 : 50~12 : 50 ランチョンセミナー 2 「長期寛解を見据えたアトピー性皮膚炎の薬剤選択」

座長：今福 信一(福岡大)
小宮根 真弓(自治医大)

LS2-1 アドトラザ®の実臨床治療の有効性と安全性～日本人での長期使用経験から考察する～
萩野 哲平 (はぎの てっぺい)
日本医大

LS2-2 マイルドではないアドトラザーザ®の実力

園田 広弥 (そのだ こうや)
世田谷そのだ皮膚科 東京都世田谷区

共催：レオ ファーマ株式会社

13:00~15:00 スポンサーシンポジウム 2 「炎症性皮膚疾患の病態と治療」

座長：岩田 浩明(岐阜大)
山本 俊幸(福島県立医大)
門野 岳史(聖マリアンナ医大)

SSY2-1 水疱性類天疱瘡における Type2 炎症を標的とした治療

古賀 浩嗣 (こが ひろし)
久留米大

SSY2-2 結節性痒疹の病態理解：かゆみと炎症の悪循環を考える

中島 沙恵子^{1,2)} (なかじま さえこ)
¹⁾京都大、²⁾京都大病院かゆみセンター、アレルギーセンター

SSY2-3 デュピクセントが導く質の高い長期寛解維持でクリニカルイナーシャを脱却せよ！

西村 陽一 (にしむら よういち)
にしむら皮膚科クリニック 福井県福井市

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

15:10~16:10 スイーツセミナー 2 「アトピー性皮膚炎治療 update 2026」

座長：藤本 学(大阪大)
片岡 葉子(大阪はびきの医療センター)

SS2-1 いまこそ見直すオルミエントの実力

武岡 伸太郎 (たけおか しんたろう)
武岡皮膚科クリニック 香川県丸亀市

SS2-2 イブグリースが拓く次世代のアトピー性皮膚炎治療
～負担の軽減と治療満足度の最大化を目指して～

茂木 精一郎 (もてぎ せいいちろう)
群馬大

共催：日本イーライリリー株式会社

16:20~17:20 特別講演 3

座長：藤本 学(大阪大)

SL3 全身性エリテマトーデス治療の最適化と標準化

渥美 達也^{1,2)} (あつみ たつや)
¹⁾北海道大名誉教授、²⁾総合病院浦河赤十字病院特別顧問

17:30~18:30 **イブニングセミナー 1 「尋常性乾癬外用療法における治療戦略」**

座長：奥山 隆平(信州大)
鶴田 大輔(大阪公立大)

- ES1-1 乾癬治療における外用療法の再評価—ドボベット®が示すその真価
朝比奈 昭彦 (あさひな あきひこ)
東京慈恵会医大
- ES1-2 尋常性乾癬外用療法における早期改善と長期寛解維持の戦略
辻 学 (つじ がく)
九州大

共催：レオ ファーマ株式会社

C 会場 (3F 孔雀の間 A) ハイブリッド開催

9:30~11:30 **スポンサードシンポジウム 1 「炎症性皮膚疾患：より高い治療ゴールの達成を目指して」**

座長：十一 英子(京都医療センター)
種瀬 啓士(東邦大医療センター大森病院)

- SSY1-1 化膿性汗腺炎に挑む～内科治療と外科治療のコンビネーション～
前川 武雄 (まえかわ たけお)
自治医大さいたま医療センター
- SSY1-2 インターロイキン 23 阻害の意義～長期レースを見据えた治療の選択～
森実 真 (もりぎね しん)
岡山大
- SSY1-3 アトピー性皮膚炎診療における SDM と T2T
中原 剛士 (なかはら たけし)
九州大
- SSY1-4 アトピー性皮膚炎治療の挑戦～かゆみと皮疹双方へのアプローチ～
鎌田 昌洋 (かまた まさひろ)
帝京大

共催：アッヴィ合同会社

11:50~12:50 **ランチョンセミナー 3 「皮膚科から始まる“塗る遺伝子治療”—表皮水疱症とバイジュベックの実臨床」**

座長：武市 拓也(名古屋大)

- LS3-1 新時代を迎えた表皮水疱症治療—保険診療、在宅投与ができる外用遺伝子治療—
石河 晃 (いしこう あきら)
東邦大

LS3-2 当院におけるバイジュベックゲルの治療経験

水谷 健人^{1,2)} (みずたに けんと)¹⁾三重大、²⁾水谷ヒフ科内科クリニック 三重県津市

共催：クリスタルバイオテック・ジャパン株式会社

13:00~14:00 教育講演 4 「皮膚腫瘍」

座長：高田 実(岡田整形外科・皮膚科・眼科)
中村 元樹(名古屋市立大)

EL4-1 これ何？ 皮膚がんの診断と鑑別疾患

加藤 裕史 (かとう ひろし)

名古屋市立大

EL4-2 症例から学ぶ皮膚悪性リンパ腫・肉腫の診断と治療

岩田 洋平 (いわた ようへい)

藤田医大

14:05~15:05 教育講演 5 「皮膚病理」

座長：熊切 正信(福井大名誉教授)
飯野 志郎(福井大)

EL5-1 WHO 分類第 5 版：皮膚付属器腫瘍と色素細胞腫瘍—発掘！新しい皮膚腫瘍型

後藤 啓介^{1,2,3,4,5,6,7,8)} (ごとう けいすけ)¹⁾がん研有明病院病理部、²⁾駒込病院病理科、³⁾東京医大病理、⁴⁾静岡がんセンター病理診断科、⁵⁾中東遠総合医療センター病理診断科、⁶⁾大阪国際がんセンター病理・細胞診断科、⁷⁾大阪医療センター臨床検査診断部、⁸⁾兵庫県立がんセンター病理診断科

EL5-2 WHO 分類第 5 版：表皮角化細胞腫瘍と爪腫瘍—病理診断の要点

高井 利浩 (たかい としひろ)

兵庫県立がんセンター

15:10~16:10 スイーツセミナー 3 「ルビーレーザーによる皮膚疾患治療～大学病院とクリニック診療のそれぞれの視点から～」

座長：清水 忠道(富山大)

SS3-1 Q スイッチルビーレーザーの実臨床—大学病院の視点から—

三澤 恵 (みざわ めぐみ)

富山大

SS3-2 クリニックにおけるルビーレーザーの使用経験～機器特性・実臨床での活用法と現在の立ち位置～

広島 光恵 (ひろしま みつえ)

広島皮膚科 愛知県稲沢市

共催：株式会社ジェイメック

16:20~17:20 特別企画教育講演 「レジェンドが語る臨床の真髄」

座長：古川 福実(高槻赤十字病院/和歌山県立医大名誉教授)
石黒 和守(石黒皮膚科クリニック)

SEL-1 アトピー性皮膚炎—クリニック診療における皮膚科医のストレスとその対策—

竹原 和彦 (たけはら かずひこ)

金沢大名誉教授

SEL-2 臨床の神髄 腫瘍

大原 國章 (おおはら くにあき)

赤坂虎の門クリニック 東京都港区

17:30~18:30 イブニングセミナー 2 「乾癬診療の守破離～患者に応じた最適な治療戦略とは～」

座長：多田 弥生(帝京大)
五十嵐 敦之(いがらし皮膚科東五反田)

ES2-1 乾癬のトータルマネジメントを目指して～他科連携と教育入院を中心に～

林 美沙 (はやし みさ)

日本生命病院

ES2-2 乾癬患者のアドヒアランスと治療効果を高める医療一病態栄養治療部との連携と抗 IL-23 抗体製剤の役割—

国本 佳代 (くにもと かよ)

和歌山県立医大

共催：サンファーマ株式会社

D 会場 (6F アートホール) ハイブリッド開催

9:30~10:30 教育講演 2 「アレルギー」

座長：谷崎 英昭(関西医大)
西田 絵美(名古屋市立大西部医療センター)

EL2-1 接触皮膚炎診療の最前線—原因究明から社会連携へ—

矢上 晶子^{1,2,3)} (やがみ あきこ)

¹⁾藤田医大ばんだね病院総合アレルギー科、²⁾藤田医大先端アレルギー免疫共同研究講座、

³⁾藤田医大総合アレルギーセンター

EL2-2 蕁麻疹診療の基本と最新アップデート

峠岡 理沙 (みねおか りさ)

藤田医大総合アレルギー科

10:40~11:40 教育講演 3 「角化症・遺伝性疾患」

座長：杉浦 一充(藤田医大)
菅谷 誠(国際医療福祉大)

EL3-1 自己炎症性角化症から発掘する研究の魅力

武市 拓也^{1,2)} (たけいち たくや)

¹⁾名古屋大、²⁾名古屋大高等研究院

EL3-2 リバートントパッチを見つけたら

村田 光麻 (むらた てるあさ)

兵庫医大

13:00~14:00 教育講演 6 「色素異常」

座長：河野 通浩(秋田大)
秋田 浩孝(藤田医大ばんだね病院)

EL6-1 脱色素性疾患の鑑別

廣保 翔 (ひろやす しょう)

大阪公立大

EL6-2 白斑の話題—基礎と臨床—

種村 篤 (たねむら あつし)

山形大

14:05~15:05 教育講演 7 「光線過敏」

座長：川原 繁(金沢市立病院)
白崎 文朗(白崎医院)

EL7-1 遺伝性光線過敏症の診断とマネジメント

小野 竜輔 (おの りゅうすけ)

神戸大

EL7-2 光線過敏症—診断へのアプローチ—

牧野 輝彦 (まきの てるひこ)

富山大

16:20~17:20 基礎シンポジウム 1 「次世代を担う皮膚研究」

座長：山中 恵一(三重大)
神人 正寿(和歌山県立医大)

BS1-1 皮膚を起点とする神経免疫研究

渋谷 倫太郎 (しぶや りんたろう)

京都大

BS1-2 皮膚常在記憶 T 細胞の性差と乾癬

吉岡 華子 (よしおか はなこ)

大阪大

17:30~18:30 **イブニングセミナー 3 「Bio/JAKi Naïve 患者さんへサイバインコという選択肢」**

座長：杉田 和成(佐賀大)

ES3-1 三位一体論で考えるアトピー性皮膚炎の病態と痒みの多元性

鷺尾 健(わしお けん)
神戸市立西神戸医療センター

ES3-2 アトピー性皮膚炎治療における JAK 阻害剤の可能性～共に目指す治療ゴール～

益田 浩司(ますだ こうじ)
京都府立医大

共催：ファイザー株式会社

E 会場 (3F ラ・グランドゥ・ルミエール)

9:30~10:45 **一般演題 1 「薬疹」**

座長：高橋 秀典(JCHO 福井勝山総合病院)
小林 知子(福井大)

- 1 アリルイソプロピルアセチル尿素による多発性固定薬疹の 1 例
服部 奏子¹⁾(はっとり かなこ)、守田 周平¹⁾、伊與部 怜奈¹⁾、濱口 儒人¹⁾、風間 弘毅²⁾、
松下 貴史¹⁾
¹⁾金沢大、²⁾同眼科
- 2 多剤インスリン製剤で皮内テスト陽性を示した、アナフィラキシーを呈したインスリンアレルギーの 1 例
山田 理子(やまだ りこ)、秋元 隆太、高村 さおり、福田 知雄
埼玉医大総合医療センター
- 3 エヌトレクチニブによる多形滲出性紅斑型薬疹の 1 例
川崎 碧(かわさき みどり)、横井 聡美、山北 高志、杉浦 一充
藤田医大
- 4 アトバコン、デノシン、それぞれによるスティーブンス・ジョンソン症候群、薬疹が考えられた HIV 患者の 1 例
古市 祐樹¹⁾(ふるいち ゆうき)、高橋 ちあき¹⁾、中島 由紀子²⁾、安西 秀美¹⁾
¹⁾川崎市立井田病院、²⁾川崎市立井田病院感染症内科
- 5 ステロイド減量に伴い再燃を繰り返した薬剤過敏症症候群の 1 例
呉 暄(ご けん)、大庭 慎也、山形 周、野村 千晴、穂坂 聡、原 義明、鄭 永宇、伊丹 綾香、
岡野 達郎、宮垣 朝光、門野 岳史
聖マリアンナ医大
- 6 当科で過去 15 年間に経験した急性汎発性発疹性膿疱症の症例 13 例のまとめ
渡邊 寛人(わたなべ ひろと)、鳥山 えりか、鍋嶋 伸浩
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

- 7 レンバチニブ投与中に生じた壊疽性膿皮症の2例
関 太樹^{1,2)} (せき たいき)、須田 有裕子^{1,3)}、結城 明彦¹⁾、高塚 純子¹⁾、竹之内 辰也¹⁾
¹⁾新潟県立がんセンター新潟病院、²⁾富山大、³⁾新潟大
- 8 周術期アナフィラキシーとの鑑別に難渋した1例：冠攣縮性狭心症と腸間膜牽引症候群の関与が考えられた症例
金城 賢吾¹⁾ (きんじょう けんご)、黒木 茂¹⁾、天貝 諒¹⁾、田子 紘樹²⁾、武中 敏恵³⁾、小林 道生⁴⁾、澤田 拓実⁵⁾、佐藤 圭吾⁶⁾
¹⁾石巻赤十字病院、²⁾石巻赤十字病院外科、³⁾石巻赤十字病院麻酔科、⁴⁾石巻赤十字病院救急科、⁵⁾石巻赤十字病院循環器内科、⁶⁾石巻赤十字病院薬剤部
- 9 当科におけるエンホルツマブベドチン関連皮膚障害の臨床的検討
内田 綾那 (うちだ あやな)、山北 高志、杉浦 一充
藤田医大
- 10 再燃を繰り返したモガムリズマブによるGVHD型薬疹の1例と当院での経験例のまとめ
水野 嵩彬¹⁾ (みずの たかあき)、島本 純子¹⁾、岡田 睦実²⁾、古川 福実¹⁾
¹⁾高槻赤十字病院、²⁾高槻赤十字病院血液内科

10:45~11:30

一般演題2 「湿疹・皮膚炎・蕁麻疹・痒疹・物理的・化学的障害」

座長：片岡 葉子(大阪はびきの医療センター)
上田 英一郎(大阪医科薬科大)

- 11 Lebrikizumab 投与中に巨大乳頭を伴う結膜炎を生じ、dupilumab への切替と眼科的介入により改善した1例
飯田 祥平¹⁾ (いいだ しょうへい)、加島 悠然²⁾、山中 恵一¹⁾
¹⁾三重大、²⁾三重大眼科
- 12 Neutrophilic urticarial dermatosis の1例
綾部 詩音 (あやべ しおん)、宇田 絵美、吉村 亜紀、爲政 萌子、小澤 健太郎
国立病院機構大阪医療センター
- 13 ヘアブリーチ剤に含まれる過硫酸塩によるアナフィラキシーを疑った1例
中山 隆太 (なかやま りゅうた)、岡崎 堯子、内田 沙織、笠松 宏至、加畑 雄大、小林 知子、尾山 徳孝、長谷川 稔
福井大
- 14 α -Gal 症候群の1例
加藤 芙未 (かとう ふみ)、生玉 梨紗、長谷川 敏男
順天堂大静岡病院
- 15 進行期脾癌に多発関節炎、脾性脂肪織炎を合併してPPP症候群と診断した1例
中村 安里¹⁾ (なかむら あんり)、近藤 諒¹⁾、皆川 卓也²⁾、策 愛子³⁾、楊 夢⁴⁾、松岡 亮介⁴⁾、菅原 ゆたか⁵⁾、樋口 肇⁵⁾、濱田 利久¹⁾、菅谷 誠¹⁾
¹⁾国際医療福祉大成田病院、²⁾国際医療福祉大成田病院消化器外科、³⁾国際医療福祉大成田病院アレルギー・膠原病内科、⁴⁾国際医療福祉大成田病院病理診断科、⁵⁾国際医療福祉大成田病院腫瘍内科

16 麻疹様の皮疹を呈した菊池病疑いの小児例

宮島 萌乃^{1,2)} (みやじま もえの)、笠松 宏至²⁾、加畑 雄大²⁾、尾山 徳孝²⁾、長谷川 稔²⁾、
松川 菜美子³⁾、木村 幸弘⁴⁾、樋口 翔平⁵⁾

¹⁾福井赤十字病院、²⁾福井大附属病院、³⁾福井大附属病院小児科、⁴⁾福井大附属病院耳鼻科、

⁵⁾福井大附属病院病理診断科

11:50~12:50 ランチョンセミナー 4 「アトピー性皮膚炎の長期寛解維持を目指して」

座長：越後 岳士(石川県立中央病院)

金澤 伸雄(兵庫医大)

LS4-1 アトピーファミリーの心情に寄り添う診療

上出 良一^{1,2)} (かみで りょういち)

¹⁾ひふのクリニック人形町 東京都中央区、²⁾東京慈恵会医大

LS4-2 アトピー性皮膚炎外用療法における外用療法使い分けストラテジー

沖山 奈緒子 (おきやま なおこ)

東京科学大

共催：大塚製薬株式会社

13:00~14:10 一般演題 3 「膠原病・関連疾患」

座長：周 円(大垣市民病院)

正畠 千夏(奈良県立医大)

17 当院における限局性強皮症患者の膠原病合併の検討

井汲 菜摘 (いくみ なつみ)、藤田 英樹

日本大

18 唾液腺型アミラーゼ上昇を伴ったシェーグレン症候群の 1 例

小笠原 理香¹⁾ (おがさわら りか)、高永 純平¹⁾、野口 直杜¹⁾、廣田 一貴¹⁾、国定 充¹⁾、

小野寺 美奈子²⁾

¹⁾兵庫県立はりま姫路総合医療センター、²⁾小野寺医院 兵庫県加西市

19 皮下結節を呈しリンパ腫やサルコイドーシスなどの鑑別を要した深在性エリテマトーデスの 1 例

山田 隆太郎¹⁾ (やまだ りゅうたろう)、三輪 祐¹⁾、小林 香映¹⁾、川上 大輔¹⁾、青山 愛果¹⁾、

大島 昇²⁾、猪又 直子¹⁾

¹⁾昭和医大、²⁾渋谷駅前おおしま皮膚科 東京都渋谷区

20 CT が診断と治療効果判定に有用であり、ヒドロキシクロロキンが著効した深在性エリテマトーデスの 1 例

吉岡 拓真^{1,2)} (よしおか たくま)、後藤 和哉¹⁾、入江 浩之¹⁾、小嶋 綾子³⁾、桃島 健治¹⁾

¹⁾京都大、²⁾滋賀県立総合病院、³⁾宇治武田病院

21 進行性顔面脂肪萎縮を伴う全身性エリテマトーデスに対し IFN 受容体抗体投与後に進行乳癌を生じた 1 例

鈴木 玲奈¹⁾ (すずき れいな)、北 佳奈子¹⁾、村田 光麻¹⁾、金澤 伸雄¹⁾、深井 和吉²⁾、

田村 誠朗³⁾、河合 建一郎⁴⁾、下田 雅史⁵⁾、山上 啓子⁶⁾、赤澤 宗輝⁷⁾、荻野 諒⁸⁾、井澤 和司⁸⁾

¹⁾兵庫医大、²⁾馬場記念病院、³⁾兵庫医大糖尿病内分泌免疫内科学、⁴⁾兵庫医大形成外科学、

⁵⁾兵庫医大乳腺内分泌外科学、⁶⁾大阪市立総合医療センター総合診療科、⁷⁾馬場記念病院内科、

⁸⁾京都大大学院発達小児科学

- 22 **びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫に合併した皮膚筋炎の 1 例**
坪井 芳真¹⁾ (つばい よしまさ)、晴木 健人¹⁾、釜田 菜那¹⁾、福田 麻美子¹⁾、小泉 莉奈¹⁾、
鷲尾 健¹⁾、新里 偉咲²⁾
¹⁾神戸市立西神戸医療センター、²⁾神戸市立西神戸医療センター免疫血液内科
- 23 **顔面に片側性の紅斑が出現した皮膚筋炎の 1 例**
山本 容子¹⁾ (やまもと ようこ)、小林 研一²⁾、西川 哲史¹⁾、鈴木 理沙¹⁾、原田 和俊¹⁾
¹⁾東京医大、²⁾東京医大呼吸器内科
- 24 **潜在性乳癌を合併し、化学療法中に強皮症様の皮膚硬化を呈した抗 Ro52 抗体単独陽性皮膚筋炎の 1 例**
久保 隆博¹⁾ (くぼ たかひろ)、後藤 和哉¹⁾、加地 紫苑²⁾、日和 良介²⁾、石井 慧³⁾、梶島 健治¹⁾
¹⁾京都大、²⁾京都大免疫・膠原病内科、³⁾京都大乳腺外科
- 25 **抗 ARS 抗体症候群の親子例**
大城 結衣 (おおしろ ゆい)、宮城 拓也、山口 さやか、柳 輝希
琉球大

14 : 10 ~ 15 : 00 **一般演題 4 「血管炎・循環障害」**

座長：加納 宏行(岐阜市民病院)
井岡 奈津江(京都府立医大)

- 26 **下腿潰瘍を呈したサルコイド血管炎の 1 例**
新井 優希¹⁾ (あらい ゆうき)、甘利 ひかり²⁾、竹村 杏奈³⁾、梅本 尚可¹⁾、前川 武雄¹⁾
¹⁾自治医大附属さいたま医療センター、²⁾自治医大附属さいたま医療センター呼吸器内科、
³⁾自治医大附属さいたま医療センター病理診断科
- 27 **手指潰瘍を伴った好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の 1 例**
渡會 裕大 (わたらい ゆうだい)、竹谷 絵里、高山 茜、伊與部 怜奈、大石 京介、濱口 儒人、
松下 貴史
金沢大
- 28 **初発症状として特異な眼瞼浮腫を認めた好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)の 1 例**
北岡 美羽¹⁾ (きたおか みう)、木村 浩¹⁾、眞田 創²⁾、山田 和徳^{2,4)}、水田 秀一^{3,4)}
¹⁾加賀市医療センター、²⁾加賀市医療センター腎臓・リウマチ膠原病内科、
³⁾加賀市医療センター血液内科、⁴⁾金沢医大血液免疫内科
- 29 **ベンラリズマブ治療中に四肢に血疱を伴う紫斑を呈した、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の 1 例**
東條 理紗¹⁾ (とうじょう りさ)、水田 康生²⁾、三宅 智子¹⁾、川上 佳夫¹⁾、勝山 隆行³⁾、森実 真¹⁾
¹⁾岡山大、²⁾津山中央病院、³⁾岡山大膠原病内科
- 30 **低用量アスピリン療法と抗凝固療法を併用し妊娠、生児を得たりべド血管症の 1 例**
宇根 ちさと (うね ちさと)、生玉 梨紗、長谷川 敏男
順天堂大静岡病院
- 31 **当科で経験したカルシフィラキシスの 2 例**
深井 諒 (ふかい りょう)、竹谷 絵里、石井 貴之、八田 尚人
富山県立中央病院

15 : 10～16 : 10 スイーツセミナー 4 「未来がひろがる乾癬治療を。」

座長：渡辺 大輔(愛知医大)
大久保 ゆかり(東京医大)

- SS4-1 PsA 治療の新たな選択肢—臨床試験データから見るソーティクツの期待とは—
橋本 由起 (はしもと ゆき)
東邦大
- SS4-2 PsO から PsA まで見据えた乾癬治療—ソーティクツの治療ポジションとは—
谷崎 英昭 (たにざき ひであき)
関西医大

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

16 : 20～17 : 20 教育講演 8 「ベーチェット病」

座長：筒井 清広(たがみの里皮ふ科)
川上 佳夫(岡山大)

- EL8-1 Behcet's disease (BD) 患者の診断に口腔内唾液反応の重要性
金子 史男¹⁾ (かねこ ふみお)、富樫 亜吏²⁾
¹⁾福島県立医大名誉教授、²⁾脳神経疾患研究所附属総合南東北病院
- EL8-2 ベーチェット病診療の最近の進歩
中村 晃一郎 (なかむら こういちろう)
埼玉医大名誉教授

17 : 30～18 : 30 イブニングセミナー 4 「原発性手掌多汗症の治療継続を支える服薬指導の工夫」

座長：加藤 則人(京都府立医大)

- ES4-1 アポハイドローション登場から 3 年、実臨床から見えてきたこと—治療効果と手掌多汗症診療のこれから—
大嶋 雄一郎 (おおしま ゆういちろう)
愛知医大
- ES4-2 「握手が変わる、生活が変わる！」—その 5 プッシュで変わる患者の日常—
石黒 和守 (いしぐろ かずもり)
石黒皮膚科クリニック 福井県坂井市

共催：久光製薬株式会社

F 会場 (3F 孔雀の間 B)

9:30~10:35

一般演題 5 「腫瘍 1 (良性腫瘍)」座長：長野 徹(神戸市立医療センター中央市民病院)
波部 幸司(三重大)

- 32 毛包誘導を伴った皮膚線維腫の 2 例
植村 彩記¹⁾(うえむら さき)、富江 玲那¹⁾、伊藤 真未¹⁾、中谷 佳保里¹⁾、横村 馨¹⁾、
山本 帆乃佳²⁾、里 奈歩²⁾、清原 隆宏¹⁾
¹⁾関西医大総合医療センター、²⁾関西医大香里病院
- 33 思春期女性の頸部に生じた eruptive syringoma の 1 例
清水 裕介(しみず ゆうすけ)、渡辺 圭子、木戸 千晴、大原 裕士郎、大磯 直毅
近畿大奈良病院
- 34 生下時から認める右肩の肥満細胞腫の 1 例
齋藤 理沙(さいとう りさ)、中野 小百合、川瀬 正昭
東京慈恵会医大葛飾医療センター
- 35 皮膚原発多発性形質細胞腫の 1 例
松吉 恭平¹⁾(まつよし きょうへい)、川端 紀子¹⁾、田代 晴加²⁾、木藤 克之²⁾
¹⁾長浜赤十字病院、²⁾長浜赤十字病院血液内科
- 36 下口唇に生じた孤立性形質細胞腫の 1 例
川端 脩人(かわばた なおと)、長谷川 敏男
順天堂大静岡病院
- 37 ランゲルハンス細胞組織球症の 1 例
藤原 奈々子¹⁾(ふじはら ななこ)、田嶋 安紀¹⁾、久米 典子¹⁾、大町 太一²⁾、谷崎 英昭¹⁾
¹⁾関西医大、²⁾関西医大小児科
- 38 著明な石灰化を伴った筋線維腫の 1 例
富藤 友菜(とみふじ ゆうな)、光井 康博、正畠 千夏、西村 友紀、小川 浩平、新熊 悟
奈良県立医大
- 39 2 か所に病変を認めた爪下グロムス腫瘍の 1 例
石田 奈那¹⁾(いしだ なな)、石原 成美¹⁾、中嶋 智香子²⁾、川邊 瑠璃子¹⁾、桑野 嘉弘¹⁾
¹⁾帝京大附属溝口病院、²⁾高津駅前なかしま皮膚科クリニック 神奈川県川崎市

10:35~11:30

一般演題 6 「腫瘍 2 (黒色腫、治療)」座長：神谷 秀喜(中部国際医療センター)
石井 貴之(富山県立中央病院)

- 40 腫部欠損創の再建に分層植皮術と局所陰圧閉鎖療法を用いた悪性黒色腫の 1 例
森 智史(もり さとし)、野中 一輝、山口 あり娑、高橋 亨太、齊藤 美穂、藤原 由佳子、
鈴木 利宏、井川 健
獨協医大

- 41 疣贅様の紅色丘疹として局所再発した表皮向性転移性悪性黒色腫の1例
新川 紗由香¹⁾ (あらかわ さゆか)、佐藤 葵¹⁾、平井 郁子¹⁾、角田 梨沙¹⁾、舩越 建¹⁾、
中山 雄二²⁾、天谷 雅行¹⁾、中村 善雄¹⁾
¹⁾慶應義塾大、²⁾慶應義塾大病理診断科
- 42 遺伝子解析を用いて診断した多発性原発性悪性黒色腫の1例
福田 晴美¹⁾ (ふくた はるみ)、澤田 世来¹⁾、松居 志洋¹⁾、神谷 秀喜¹⁾、北島 康雄¹⁾、
松永 研吾²⁾、杉山 誠治²⁾、山田 鉄也²⁾
¹⁾中部国際医療センター、²⁾同病理診断科
- 43 悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害薬にてirAE 髄膜炎をきたした2例
豊田 卓弥¹⁾ (とよだ たくや)、菊池 幸乃¹⁾、牧 卓矢¹⁾、福田 良子¹⁾、加藤 史織¹⁾、
多湖 真帆里¹⁾、満間 照之¹⁾、李 ふみこ²⁾、野田 智子²⁾
¹⁾一宮市立市民病院、²⁾一宮市立市民病院脳神経内科
- 44 ニボルマブ+イピリムマブ1回投与後にirAE 脊髄炎を発症したが、その後CRを得た進行期悪性黒色腫の1例
平良 喬彌 (たいら たかや)、森 章一郎、酒井 良樹、堀崎 健、武市 拓也
名古屋大
- 45 BRAF/MEK 阻害薬長期奏効中に重度心機能低下を認めたメラノーマの1例 分子標的薬長期投与13例の検討
中野 英司¹⁾ (なかの えいじ)、緒方 大^{1,2)}、高橋 聡^{1,3)}、栗崎 道賢¹⁾、加瀬 美咲¹⁾、瀬下 治孝¹⁾、
鹿毛 勇太¹⁾、山崎 直也¹⁾、並川 健二郎¹⁾
¹⁾国立がん研究センター中央病院、²⁾宮崎大、³⁾国立がん研究センター東病院
- 46 本邦におけるモーズペーストの使用実態と臨床的特徴：国内文献に基づくスコーピングレビュー
松井 悠 (まつい ゆう)、釣谷 美悠、佐藤 あいりん、北山 祥平、清水 忠道
富山大

11:50~12:50

ランチョンセミナー5 「全身性強皮症に伴う間質性肺疾患」

座長：竹原 和彦(金沢大名誉教授)
神人 正寿(和歌山県立医大)

- LS5-1 全身性硬化症の疫学・病態と治療戦略の変遷
松下 貴史 (まつした たかし)
金沢大
- LS5-2 見逃してはいけない進行性肺線維症—膠原病関連間質性肺疾患の診断と治療—
早稲田 優子 (わせだ ゆうこ)
福井大呼吸器内科

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

13:00~14:10

一般演題 7 「腫瘍 3 (上皮系、転移性)」

座長：国定 充(兵庫県立はりま姫路総合医療センター)
有馬 豪(藤田医大)

- 47 後頭部に発生した Fibroepithelioma of Pinkus の 1 例
木村 愛里¹⁾(きむら あいり)、飯田 祥平¹⁾、須賀 友佳子²⁾、北川 敬之¹⁾、波部 幸司¹⁾、
山中 恵一¹⁾
¹⁾三重大、²⁾伊勢赤十字病院
- 48 超音波で表皮嚢腫に類似した所見を呈した基底細胞癌 3 例の検討
平野 慎悟¹⁾(ひらの しんご)、生野 泰彬¹⁾、小林 佳道¹⁾、山田 昌弘¹⁾、小池 隆弘¹⁾、
前田 泰広¹⁾、山口 明彦¹⁾、高橋 聡文¹⁾、荒川 明子^{1,2,3)}、藤本 徳毅¹⁾
¹⁾滋賀医大、²⁾ミュンヘン大、³⁾ライプツィヒ大
- 49 Sebaceous borderline neoplasm を契機に診断した Muir-Torre 症候群の 1 例
吉田 徳子^{1,2)}(よしだ のりこ)、光井 康博¹⁾、金谷 悠司¹⁾、西村 友紀¹⁾、正畠 千夏¹⁾、
小川 浩平³⁾、新熊 悟¹⁾
¹⁾奈良県立医大附属病院、²⁾奈良県総合医療センター、³⁾市立奈良病院病理診断センター
- 50 Lynch syndrome 患者に発生した鼻部皮膚腫瘍の 1 例
北川 敬之¹⁾(きたがわ ひろし)、高田 彰憲²⁾、波部 幸司¹⁾、山中 恵一¹⁾
¹⁾三重大、²⁾三重大放射線科
- 51 尋常性白斑に対する長期の紫外線療法中に白斑部位に一致して多数の光線角化症を生じた
1 例
井上 愛理(いのうえ あいり)、笹岡 佑輔、池田 彩、爲政 大幾
医誠会国際総合病院
- 52 臀部慢性膿皮症より発症した有棘細胞癌の 1 例
横見 明典(よこみ あきのり)、高塚 麻由香、直原 成美、須藤 ゆか、後藤 範子
市立豊中病院
- 53 100 歳、PS 不良局所進行有棘細胞癌に対しニボルマブ単剤療法が長期奏功した 1 例
奥山 奈津子(おくやま なつこ)、井上 禎夫、山浦 真衣子、村山 友理、小泉 滋、中村 泰大
埼玉医大国際医療センター
- 54 ニボルマブ投与早期に致死的な間質性肺炎を来した有棘細胞癌の 1 例
住谷 惇治(すみたに じゅんじ)、金田 一真、沼田 礼良、宗元 紗和、福永 淳、森脇 真一
大阪医科薬科大
- 55 陰茎亀頭部に生じた前立腺癌転移の 1 例
工藤 理希¹⁾(くどう まさき)、中西 佑以子¹⁾、宮野 恭平¹⁾、朝倉 亮²⁾、常深 祐一郎¹⁾
¹⁾埼玉医大、²⁾埼玉医大泌尿器科

14:10~15:00 一般演題 8 「腫瘍 4 (間葉系、付属器、血管腫)」

座長：小澤 健太郎(大阪医療センター)
福山 國太郎(関西ろうさい病院)

- 56 非露光部に生じた Atypical Fibroxanthoma の 1 例
永田 遼¹⁾ (ながた りょう)、三崎 春香¹⁾、藤野 三奈¹⁾、小猿 幸希子¹⁾、田中 伶奈¹⁾、
福満 祥子¹⁾、八木田 隼啓¹⁾、小倉 香奈子¹⁾、長野 徹¹⁾、山下 純史²⁾
¹⁾神戸市立医療センター中央市民病院、²⁾やました皮フ科クリニック 兵庫県神戸市
- 57 左大腿部に生じた巨大な脱分化型脂肪肉腫の 1 例
中谷 佳保里 (なかたに かほり)、津田 真理、富江 玲那、田中 翔、植村 彩記、浦上 貴弘、
檜村 馨、清原 隆宏
関西医大総合医療センター
- 58 陽子線での単独治療が奏効した頭部血管肉腫の 1 例
北風 光平¹⁾ (きたかぜ こうへい)、岡本 芳伸¹⁾、佐藤 義高²⁾、玉村 裕保²⁾
¹⁾福井県立病院、²⁾同放射線科
- 59 左前胸部に生じた皮様嚢腫の 1 例
吉田 育海 (よしだ いくみ)、藤島 智慧子、改正 純一、太田 深雪、八木 洋輔
大阪赤十字病院
- 60 Tumor of follicular infundibulum の 1 例
間瀬 友香子¹⁾ (ませ ゆかこ)、武市 拓也²⁾、伊藤 真文³⁾、尾市 誠¹⁾、杉浦 一充⁴⁾
¹⁾西尾市民病院、²⁾名古屋大、³⁾西尾市民病院病理診断科、⁴⁾藤田医大
- 61 当科で経験したアポクリン汗嚢腫 10 例のまとめ
津田 貴子 (つだ きこ)、中原 希、脇 裕磨
東京慈恵会医大柏病院
- 62 infantile hemangioma with minimal or arrested growth (IH-MAG) の 4 例
種子島 佳子^{1,2)} (たねがしま けいこ)、工藤 恭子¹⁾、中原 剛士³⁾
¹⁾福岡市立こども病院、²⁾原土井病院、³⁾九州大

15:10~16:10 スイーツセミナー 5 「遺伝性血管性浮腫 (HAE)」

座長：本田 哲也(浜松医大)

- SS5-1 遺伝性血管性浮腫 患者参加型調査から見てきた実態と課題
森桶 聡 (もりおけ さとし)
広島大
- SS5-2 遺伝性血管性浮腫診療の進化—多様化する治療戦略
織田 好子 (おだ よしこ)
神戸大

共催：科研製薬株式会社

16:20~17:20 特別企画セッション

座長：熊切 正信(福井大名誉教授)

SP 福井が生んだ日本皮膚科学の礎—土肥慶蔵の生涯と遺産—

中川 浩一^{1,2)} (なかがわ こういち)

¹⁾大阪府済生会富田林病院、²⁾本邦皮膚科学の足跡を辿る会

17:30~18:30 イブニングセミナー 5

座長：西田 絵美(名古屋市立大西部医療センター)

ES5 乾癬診療における“将来を見据えた治療”の重要性

阿部 名美子 (あべ なみこ)

東京医大

共催：ヤンセンファーマ株式会社

M&M 会場 (ANA クラウンプラザホテル金沢 3F 瑞雲)

15:10~16:40 キャリア支援委員会 主催
キャリアデザイン講座×M&M スイーツセミナー

～皮膚科専門医試験「合格への準備」と「専門医取得の価値」～

キャリア支援委員会 中部支部 M&M 企画 WG

鹿見山 浩 (富山大)、加藤 裕史 (名古屋市立大)、加藤 麻衣子 (大阪南医療センター)、

丸山 彩乃 (京都府立医大)、蓮沼 直子 (広島大)、鷺尾 健 (西神戸医療センター)